



ごあいさつ

新緑の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、昨年11月には皆様の温かいご支援をいただき初当選を叶えていただきました。
ここに衷心より改めて感謝を申し上げます。

当選以降、本当に一日が過ぎるのが早く感じられ、あっという間に半年ほど経ってしまいました。この間、皆様からご要望やご意見を多く賜り、職責の重さを改めて感じる日々です。その課題の解決に向け、一つ一つをスピード感を持ち、そして丁寧に取り組んで参ります。

議会におきましても、産業厚生常任委員会副委員長や議会広報常任委員として、また最上地区広域連合議員として、先輩・同期の議員各位のご指導とご協力を得て、積極的に勉強会や各種議会活動に取り組んでおります。当選以後、12月及び3月定例会では、両議会において一般質問を行い、村政の姿勢や見解を問いました。多くの村政の課題解決や現代に合った仕組みづくりに向けて、しっかりと汗をかきながら関係機関や先進地視察など調査研究を怠らず、力強い活動を行って参ります。

さて、この度、後援会の活動の一つとして、会報を発刊することになりました。不定期発行になるかもしれませんが、西野桂一の日々の活動や考え方、村政報告などをお知らせする場として活用したいと考えております。

どうか皆様には、これからも変わらず叱咤激励を賜りますことをお願い申し上げまして、後援会だより発刊にあたってのご挨拶といたします。

鮭川村議会議員／西野 桂一

令和5年
12月

- 1日(金) 第6回臨時会(初議会)
- 7日(木) ※京塚愛宕神社さんげさんげ参加
- 11日(月) 全員協議会
- 15日(金)～18日(月) 12月定例会一般質問
産業厚生常任委員会及び広報常任委員会
全員協議会
- 20日(水) ※新保育所整備に係るワークショップ
- 22日(金) 最上地区広域連合全員協議会
- 23日(土) ※さけがわ元気プロジェクト実行委員会
- 27日(水) 最上地区広域連合12月定例会

令和6年
1月

- 11日(木) 鮭川村新春のつどい
- 10日(水) ※国会議員との懇談
- 20日(土) ※さけがわ元気プロジェクト実行委員会
- 23日(火) 県町村議会新議員研修会(山形市)
- 24日(水) 産業厚生常任委員会閉会中調査(庄内地区)
- 30日(火) 村議会議員研修会

令和6年
2月

- 1日(木) 議会広報常任委員会
- 4日(日) ※さけがわ雪祭り
- 5日(月) ※(株)スノーピーク連携事業に関する打合せ会
- 9日(金) ※山形県、山形大学等起業創出事業打合せ
- 13日(火) 第1回臨時会及び全員協議会
- 23日(金) ※友遊クラブ文部科学大臣表彰受賞祝賀会
- 27日(火) 新年度予算内示会及び全員協議会

令和6年
3月

- 1日(金) 全員協議会
- 4日(月) 最上地区広域連合3月定例会
- 6日(水)～12日(火) 3月定例会一般質問
予算審査特別委員会
産業厚生常任委員会及び広報常任委員会
- 8日(金) ※向居地区県道側溝調査
- 15日(金) ※地域おこし協力隊活動報告会
- 19日(火) ※川口地区急傾斜地地域調査
- 21日(木) ※村内事業所課題調査

令和6年
4月

- 7日(日) ※京塚地区山の神勸進事業支援活動
- 15日(月) ※空き家利活用事業先進地視察 新潟県
- 17日(水) ※村内事業所課題調査(～18日)
- 20日(土) ※さけがわ元気プロジェクト実行委員会
- 21日(日) 村消防団大演習
- 22日(月) 全員協議会
- 24日(水) ※最上地区有志新人議員交流会
- 26日(金) ※村特産品通信販売調査活動
- 27日(土) ※小杉の大杉観光客入込状況調査(～29日)
- 30日(火) 広報常任委員会

※は独自の活動です。

議員主な活動日誌

一般質問 ● 西野桂一の質問要旨

◎令和5年12月15日(金) 12月定例会

一般質問／令和6年度予算編成方針等について

要旨 社会経済情勢や村の課題に的確に対応するため、限られた財源を有効に活用するための事業の「選択と集中」を徹底した予算配分とすることと同時に、行政と村民が思いを共有するための考えを求めた。また、村の自主財源の確保に向けた村民所得の向上や**企業版ふるさと納税**の活用などの施策、行政課題の複雑化・多様化に対応するための民間活力の活用や**DX（デジタルトランスフォーメーション）**の推進など先々を読んだ施策をスピード感を持って取り組むべきと求めた。

村長 人口減少や価格高騰の長期化、気候変動と激甚化する自然災害などに対応するため、各種計画に基づき、優先順位をつけながら予算編成にあたる。

自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)とは？

行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことができる。

企業版ふるさと納税とは？

国が認定した地方公共団体の地方創生事業に対し企業が寄付を行った場合に、法人税関係税から最大で寄付額の9割が税額控除される仕組み。

※令和4年度山形県内の状況：寄付件数176件、393.3百万円

◎新保育所整備計画について

これまで、新保育所の運営方針や建設予定地など地域や保護者の方々など村民との意見集約による整備計画を求めてきた。現在は、鶴田野地区を建設予定地とし、令和8年度完成に向けた基本計画が策定された。基本計画や今後実施される実施設計内容をしっかり点検するとともに、今後の進め方や適正な建設予算の配置など議論していきたいと考える。

◎その他主な質問（令和5年12月臨時会～）

Q 今後の高齢者に係るコロナワクチン接種の費用負担について、これまでの高齢者等インフルエンザワクチン接種と同様な助成対応を求めた。

Q 本年度の職員採用試験について、第一次試験（教養）時全員不合格となったため再募集を行って、第2回目の採用試験では教養試験なしで選考を行ったことについて、第1回目と同様に教養試験を行い、公平かつ適正な試験実施を求めた。

Q 地域活性化企業人制度の継続活用を行い、民間活力の活用及び企業交流を通じたふるさと納税などの新たな施策の展開を求めた。

Q 農業多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払制

◎令和6年3月6日(水)～12日(火) 3月定例会

一般質問／農業「地域計画」の推進について

要旨 「地域計画」の推進について、地域が一体となって取り組むことで、新たな収益活用や6次産業化の創出、地域維持活動など所得の更なる向上、地域課題の解決や持続可能な地域づくりに資する有効な取り組みが期待できるため、この機会をチャンスと捉え、国、県、農業団体等の支援制度を有効に活用し、積極的に取り組むよう求めた。

村長 地域計画の令和6年度中の完成を目指す。

農業「地域計画」とは？

国では、農業者の減少や耕作放棄地の拡大といった問題が深刻化する中、地域内外の幅広い担い手の確保と農地集約を進めるため、地域での話合いのもと、目指すべき将来の農地利用の姿（1筆ごとの将来計画）を明確化する地域計画を新たに策定することが義務付けられた。未策定の場合は、国の補助事業が受けられない場合がある。

地域での話合いによる他地域での好事例

農産物のブランド化、6次産業化、産直や農家レストランの新設、新規就農者の確保など。

一般質問／村営住宅等整備計画について

要旨 最近の本村へのUターンなどの移住定住希望者が増えている状況下、人口減少対策としての移住定住の推進に向けて、村営住宅の追加整備のほか民間企業と連携したアパート整備の誘致や宅地分譲整備、住宅建築に対する補助金の創設など住宅環境整備に係る総合的な施策の拡充を求めた。

村長 さけまる定住促進住宅2期計画として、令和7～8年度で建築工事を実施する。

令和5年度の本村への移住定住相談件数

相談件数 69件（空き家を活用した移住件数 11件）

度の対象地区について、制度目的を尊重し高齢化等の原因で継続困難な地区に対する事業継続可能な支援体制の強化を求めた。

Q 村制70周年記念事業について、村民不在の企画運営になっていないか指摘、村民の意見を取り入れ村民と一体となった記念事業を行うよう求めた。

Q 特定（危険）空き家対策について、これまで以上に対策に要する施策立案の研究を求めた。

Q ふれあいスポーツセンター太陽館などの指定管理委託料について、実勢価格に基づく適正な価格設定を求めた。

Q 農業集落排水事業排水管接続率の向上に向けた補助事業等の施策の拡充を求めた。

詳細は議会広報で

西野桂一後援会事務所

ご意見・ご要望等は、西野桂一後援会事務所まで

〒999-5201 最上郡鮭川村大字京塚3020

TEL・FAX 0233-55-2873

E-mail:kezu.17-4rms@softbank.ne.jp

